

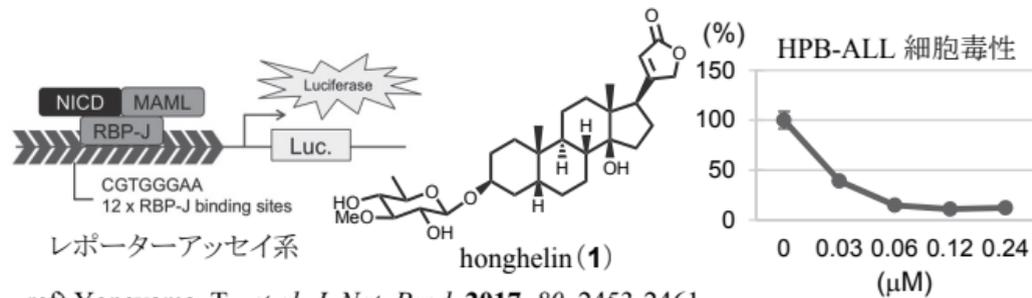
23T-pm11S

Notch シグナルを阻害する天然物の探索

○土屋 杏奈¹, 荒井 緑¹, 小谷野 喬², Thaworn KOWITHAYAKORN³,
K. Samir SADHU⁴, Firoj AHMED⁵ (¹千葉大院薬, ²テムコ, ³コンケン大, ⁴クル
ナ大, ⁵ダッカ大)

【目的】Notch シグナルは発生・分化に重要なシグナルであるが、その活性化型変異は種々のがんに関わることが知られており、T-ALL (T 細胞性急性リンパ性白血病) もその一つである。本研究では、Notch シグナルを阻害することで抗がん作用を示す天然物を当研究室保有のタイ・バングラデシュ産植物ライブラリーから探索することを目的とする。

【方法・結果】当研究室において構築したレポーターアッセイ系^{ref)}を用いて Notch シグナル阻害作用を有する天然物の探索を行い、センダン科植物 *Lansium domesticum* より honghelin (**1**) を単離した。**1** は Notch シグナル阻害活性を有し (IC₅₀ 0.62 μM)、HPB-ALL 細胞 (T-ALL 細胞の1種) に対しては毒性を示した。現在、マメ科植物 *Dalbergia latifolia* の分画を進めている。



ref) Yoneyama, T., et al. *J. Nat. Prod.* **2017**, *80*, 2453-2461.